

# 平成28年度出前講座 アカデミック・レクチャー



**兵庫大学**  
**社会福祉学科**

# 出前講座ラインナップ

講座 №	講座名	内容	担当者
1	医療の仕組み、福祉の仕組みが大変化	21世紀を生き抜いていくために、地域の生活を守る医療と福祉が変わってきています。 「これを知っておけば流れに乗り遅れない。」医療と福祉の変化を学びます。	教授 竹内 一夫
2	歳を重ねるとどんなことが大変なのか それを支えるには	今我が国は高齢化という大きな波に飲み込まれようとしています。高齢者は決して全ての人々が支援を必要としているわけではありません。高齢者の生活とは？そこでの問題点とは？一緒に考えませんか。	教授 竹内 一夫
3	知って得する医療の仕組み	できれば世話になりたくない「病院」。健康な時には考えない、考えたくない病気だからこそ、それを支える医療の仕組みって、案外みんな知らないもの。診療所や病院って、種類があつて役割が違うこと、医療費をお安くする方法って？ みんながお金を出し合つて、みんなの健康を守る医療の仕組み(制度とサービス)を学びます。	教授 和田 光徳
4	高齢者虐待はふせげるの	現代日本は超高齢社会と言われていています。医学の進歩によって、寿命が伸びればそれは必然です。ほんとうはとても喜ばしいことなのに、人生の黄昏期に悲しい結末を迎える人がいます。高齢者虐待は誰にでも起こり得ます。する側もされる側も両方が「被害者」と言われます。高齢者虐待とは何か、実際の事例を通して、その実情を理解し、やさしい社会にするにはどうしたらよいか、多面的に考えます。	教授 和田 光徳
5	障害者(児)の気持ちに寄り添うために	社会福祉士が行うソーシャルワーク実践には、温かい心をもった「やさしさ」や「思いやり」をもって障害者の主訴やニーズの違いを的確に判断し、確かな関わりを行う必要があります。つまり、専門職として障害者自身の性格を理解すること、障害(disability)の特徴を理解することで、バランスの良い援助を提供することができます。そこで、障害の種類とその特徴を理解し、障害のある方に対するかかわりについて一緒に考えてみませんか。	準教授 小倉 毅
6	自分らしく生きる生活のあり方とは？	介護保険制度が始まって以降、介護サービスの利用を希望する人々が年々増加し、高齢者福祉施設に入所を希望しながら自宅での生活を余儀なくされている人たちが多く存在し、家族を含めて生活疲労を起こしていると考えられるなかで、生活支援が必要な当事者や家族に対して、社会福祉士という専門職がどのような姿勢で関わっているかを一緒に考えてみませんか。	準教授 小倉 毅
7	再び となり同志の助け合いが必要	人は一人の力だけでは生きていけません。子どものときは親の助けを、年を取って体が思うようにいかない時は周りの人たちの手助けが必要になります。私たちの暮らす地域には、子ども、障害者、体が思うに任せない高齢者など様々な人たちが暮らしています。私たちの暮らす身近な地域が、「お互いさま」の気持ちをもって助け合いがある地域だと素敵だと思いませんか？ 普段の生活からちょっとしたしたした助け合い活動を進めていくためのポイントを一緒に考えてみましょう。	準教授 小林 茂
8	みんなの力が必要なのです！！ ～福祉ボランティア入門～	障害者や高齢者、子ども等の中に生活にハンディを持っている人がいます。福祉ボランティアはそのような方と一緒に活動することです。福祉ボランティアに皆さんも参加してみませんか？そのためにはまず何から始めたら良いか、みんなで考えてみましょう。	準教授 小林 茂

# 出前講座ラインナップ

講座 №	講座名	内容	担当者
9	知って得する介護保険	介護保険は超高齢社会に突入した我が国には、不可欠な仕組みです。どのようなことを知っておれば、上手に介護保険を使って生活を送ることができるのでしょうか。基礎から点検していきましょう。	教授 竹内 一夫
10	社会福祉は今大きく変わっています	現代社会における社会福祉の役割と機能を学びましょう。 [WELFARE]から[WEII-BEING]へと福祉は大きく変化しました。ノーマライゼーションの考えはこの流れの中にあります。	教授 竹内 一夫
11	病気になると生活は？	自分が、家族の誰かが、不意の病気にかかった時、健康な時には予想もしなかったことが、「問題」として、私たちの前に立ち現れます。ひとは必ず病気になります。あたり前だった生活上にどんな変化が起こるのでしょうか。そして、どんな風乗り越えているのでしょうか。病気とその人の生活の深い関係を探ります。	教授 和田 光徳
12	がんであっても人として豊かに生きていく	今や2人にひとりが、がんという病気にかかり、3人にひとりがそのため亡くなるという時代になりました。何やら、とても怖い病気に思いますが、早期発見・早期治療であれば、治る病気にもなりました。がんの種類によっては、上手に付き合って10年、20年と生活する人もいます。新しい画期的な治療法も開発されています。だからこそ、がんという病気は「情報戦」と言われます。がん相談支援センターの役割を通して、がんにならない、がんになった時の支援を学び、健康と福祉について考えます。	教授 和田 光徳
13	子どもの権利はどうして守られているのでしょうか	子どもは、一般的に家庭において親や保護者のもとで成長・発達しながら大人になる準備をしていきます。これは親からの「無条件の愛」を受けることによってパーソナリティ形成に必要な安心感や所属感を得るからです。しかし、家庭だけでは健全に育めない子どもの存在があります。その子どもたちに対して、専門職である社会福祉士は『社会的養護の視点』から、児童を心身ともに健やかに育成する責務を負っています。そこで、児童福祉法にある児童福祉施設で働く専門職の魅力と、その役割について一緒に考えてみませんか。	準教授 小倉 毅
14	支援を受ける人の気持ちを本当に受けとめるには	私たちは、コミュニケーションにより他人と関わることができます。しかし、介護を必要とする障害者や高齢者の中には、何らかのコミュニケーション障害があり、自分の意思や要求を相手に上手く伝えることができないことがあります。利用者の想いに寄り添ったかわりを行うには、専門職としてのコミュニケーションスキルを高めていく必要があります。そこで、コミュニケーション演習を通じて『話を聴く技法』について一緒に考えてみましょう。	準教授 小倉 毅
15	あなたは自分の生活を守りきれますか	今、認知症高齢者は約470万人、その予備軍は400万人、合せて900万人くらいいると言われていています。10年後には1.5倍になり65歳以上の5人に一人は認知症、予備軍を入れれば2.5人に一人が認知症もしくはその予備軍となります。 高齢に伴い判断能力が衰えても、自分らしく暮らしていくための施策として福祉サービスだけでなく、成年後見制度をはじめとする権利擁護に関する制度があります。 判断能力が衰えても、権利擁護の制度をうまく使って自分らしく暮らしていける方法を一緒に考えてみませんか。	準教授 小林 茂
16	福祉サービスはこうして選ぶ	高齢化が進み、誰もが介護サービスを利用する時代になりました。そして、福祉サービスも行政だけでなく、社会福祉法人、企業、生協など様々な組織が事業として実施しています。福祉サービスにはどのようなものがあるのか知るとともに、福祉サービスの上手な利用方法を考えてみましょう。	準教授 小林 茂

## 出前講座ラインナップ

講座 №	講座名	内容	担当者
17	自分を生かす人の理解	「人間関係をつくるのが難しい。」「人間関係を維持するのが難しい。」と言われます。 人は様々で、一人一人の思いも行動も違います。人間関係を考えるなら、まずはその中心にある人について考えてみませんか？そのためにはまず自分について理解を試みるのも一つの方法です。	教授 竹内 一夫
18	人を助けるとは	人を理解し援助するには、何をどのように考えて行けばいいのでしょうか？アドバイスをすることでしょうか？お話を聞くことでしょうか？それともその人の問題を理解することなのでしょうか？一緒に、「人を援助するには、どのようにすればいちばんいいのか」を考えてみましょう。	教授 竹内 一夫
19	人の命とは ～延命治療～	現代医学はすばらしい技術的発達を遂げ、健康や長寿を享受できる社会になりました。一方で、完全には治らない、つまり病と共に生きなければならない人や、救命の結果、生命は救えたものの重度の障害が残ってしまった人も増えています。あなたが植物状態(遷延性意識障害)になったら、食事を口から食べることができなくなったら、大事な人がそうになったら、あなたは、どこまで救命を望み、延命処置を承諾しますか。難しくも切実な問題を通して、「いのち」について考えたいと思います。	教授 和田 光徳
20	災害を乗り越える住民の力	東日本大震災、熊本地震などの大地震、毎年日本のどこかで起きる大水害。私たちはいつ災害に見舞われるかわかりません。災害では、普段の助け合いが災害救援、復興の時力を発揮します。過去の災害時で住民同士の助け合い、災害ボランティア活動の経験を学び、私たちは普段から何を準備しておく必要があるか、一緒に考えましょう。	準教授 小林 茂
21	車椅子の使い方ひとつで生活は変わる	介護が必要な高齢者や障害者の外出支援を行うには、車いすに移乗方法や姿勢保持の方法に加え、車いすの操作方法を理解する必要があります。さらに平地での移動や不整地移動、舗装された道横断歩道の介助など、外出先の環境によって操作方法が変わってきます。そこで、外出時における車いす操作方法について、実習を通じて学びましょう。	準教授 小倉 毅



兵庫大学

### 【お問い合わせ】

担当課： 教学部 入学課

住 所： 〒675-0195

加古川市平岡町新在家2301番地

連絡先： 079-427-1116(TEL) 079-427-1117(FAX:)